

わかやま
ともに生きる地域社会の実現をめざして

令和6年度 和歌山県地域福祉推進フォーラム ～ “その人らしい幸せな暮らし” を みんなで考える～

1. 趣旨

パソコンやスマホなどの普及により、データ通信を通じて世界の距離は近くなった一方、地域社会に目を向けると、少子高齢化と人口減少、核家族化の進行、ICT化などによって人と人との直接的なコミュニケーションが減り、私たちが大事にしてきた“つながり”や“支え合い”機能が弱まっています。

その結果、孤独死やひきこもり、児童虐待、DV、ヤングケアラーなどの「社会的孤立」を要因とした今日的課題が増加しています。また、非正規雇用労働者の増加、物価高騰などによる「経済的困窮」など、生活に何らかの困難を抱えながら地域に暮らす住民が、生活しづらい環境になってきているのではないのでしょうか。

地域共生社会の実現に向けた施策がすすめられる中で、いままこれからも住み慣れた地域で“その人らしい幸せな暮らし”を送れるよう、その人の生活に向き合う活動者は何を感じ、どのような想いで活動に取り組んでいるのか。その活動を紐解きながら、私たちにできることを考えます。

2. 主催 社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会

3. 共催 和歌山県市町村社協連絡協議会

4. 後援 和歌山県、和歌山県民生委員児童委員協議会、和歌山県ボランティア連絡協議会、
(予定) 和歌山県社会福祉法人経営者協議会、和歌山県社会福祉法人経営青年会、
社会福祉法人和歌山県共同募金会

5. 日時 令和7年1月30日(木)

6. 会場 和歌山県勤労福祉会館プラザホープ 4階 ホール
(午前中の市町村社協役職員研修会は2階多目的室)
和歌山市北出島1丁目5-47

7. 参加対象 市町村社協役職員、社会福祉施設役職員、民生委員・児童委員、ボランティア・NPO、
企業、行政職員、学生、その他地域福祉に関心のある方

(参加定員：150名・先着順)

8. 内容(午前)

第1部：午前 10:30～12:00 【90分】	市町村社協役職員研修会 (和歌山県市町村社協連絡協議会＝社協のみ参加) (1) 市町村社協連絡協議会 業務課題検討会 取組報告 (2) 県社協からの連絡事項
--------------------------------	---

(午後)

<p>第2部：午後 13:00～16:00 【180分】</p>	<p>令和6年度 和歌山県地域福祉推進フォーラム ～ “その人らしい幸せな暮らし” を みんなで考える～</p> <p>(1) 開会・オリエンテーション (2) 基調講演 「居場所づくりからはじめる地域共生社会」 摂南大学 現代社会学部 講師 上野山 裕士 氏 (和歌山県社協活動計画検討委員会委員)</p> <p>(3) シンポジウム 様々な主体の地域福祉活動実践者が、現在の社会情勢を踏まえ、いまもこれからも住み慣れた地域で“その人らしい幸せな暮らし”を送れるよう、一人ひとりの生活課題にどのように向き合い、どのような想いで活動に取り組んでいるのか。衣、食、住、そして居場所づくりの視点から、その活動を紐解きながら、私たちにできることを皆さんと一緒に考えます。</p> <p>【実践報告】</p> <p>① 「着なくなった学生服をいかして子供たちの未来を応援」 NPO 法人はぐくみ 制服リユース SHOP KAKAYA 代表 木野 歩美氏</p> <p>② 「居場所としての子ども食堂」 認定 NPO 法人ハートツリー 理事長 松下 泰子氏</p> <p>③ 「誰もが住み続けられる街を目指して」 社会福祉法人千翔会 施設長 高垣 千恵氏</p> <p>④ 「ゆるやかなプラットフォームづくり ～福祉教育機能を活かした展開～」 社会福祉法人有田市社会福祉協議会 事務係長 宮本 朋子氏</p> <p>(4) 質疑応答 (5) まとめ</p> <p>☆コーディネート&コメンテーター 上野山裕士 氏</p>
--	--

9. 申込方法

別紙「参加申込書」により、令和7年1月20日(月)までにGoogleフォームまたはFAXによりお申込みください。申込受付後、参加確認券等の発行は行いません。
Google フォーム <https://forms.gle/LkzNw8bYxK5iRZNs8>



※個人情報の取扱い…「参加申込書」に記載の個人情報は、本研修会・フォーラム運営管理のために利用します。

10. お申込み・お問合せ先

社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会 総務企画部 企画班
〒640-8545 和歌山市手平2丁目1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛7階
TEL: 073-435-5224 FAX: 073-435-5226 メール: washakyo@wakayamakenshakyo.or.jp



このフォーラムは、一部「赤い羽根共同募金」の配分を受けて実施しています。